

臨床研究

「認知症スクリーニング手法の開発」について

筑波大学附属病院精神神経科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

認知症になる前の段階を早期発見する方法には様々なものがありますが、プレクリニカル期と呼ばれる、MCI よりも前の段階を発見する方法はまだ確立されていません。認知症になる前の段階を早期発見する方法には、脳画像、PET 検査、血液検査、認知機能検査などがあり、最近では日常生活の様子からも認知症の前段階の兆候が分かるようになってきました。そこで、これらの認知症を早期に発見する方法を用いて、より簡便な指標を作る研究を行います。

② 研究対象者

45 歳以上の健常者、プレクリニカル期、および MCI、認知症と診断された男女と、以下の研究に参加いただいた方

「日常生活動作から得られる特徴量を用いた認知症のスクリーニング法の開発 (H29-065)」

「人間ドック受診者の認知機能および行動特徴に関する観察研究 (R01-168)」

「精神神経疾患における脳画像—体液バイオマーカー相関に関する多施設連携研究 (R02-328)」

「中・高齢者の良好な生活機能を保持するための大規模縦断的コホート研究-つくばハピネスライフ研究- (R03-335)」

「認知症を対象とした MRI データと臨床情報との比較検討 (H29-315)」

「軽度認知障害の臨床経過に関する観察研究 (R03-148)」

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

脳 MRI 画像、認知機能検査、身体機能（行動特徴）検査、血液検査、アミロイド PET、タウ PET などから、認知症の早期発見をおこないます。

⑤ 試料・情報の項目

一般調査（身長、体重、発達歴、教育歴、現病歴、生活状況など）、血液検査（血液一般生化学検査と血液バイオマーカー、APOE 遺伝子型検査）、脳 MRI、認知機能検査、身体機能検査（体力

測定：筋力、歩行、バランス等、行動特徴検査：音声、視線、運動)、アミロイドPET、タウPET

⑥ 研究機関名および研究責任者名

施設名称：筑波大学 医学医療系臨床医学域 精神医学

所在地：茨城県つくば市天王台 1-1-1

研究責任者：教授 新井哲明

⑦ 共同研究機関名

施設名称：日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

研究責任者：東京基礎研究所 シニア・リサーチ・サイエンティスト 小林正朋

施設名称：国立大学法人静岡大学情報学部 西村研究室

所在地：静岡県岡市駿河区大谷 836

研究責任者：情報学部特任教授（名誉教授） 西村雅史

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学医学医療系 教授 新井 哲明

電話：029-853-3182（平日 10～17 時）